

			科目コード*	234
科目名	地域診断論 (Community Analysis)		開講学科	看護学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	2 単位 (45時間)	履修時期
担当教員	田中 美延里、奥田 美恵、入野 了士、窪田 志穂、長尾 奈美		科目区分	専門科目
授業概要	1 地域診断の基本的な考え方と方法を概説し、地区踏査の演習を実施する。 2 地域のグループ・組織に関する調査により社会資源のイメージを広げ、個人・家族支援のための社会資源の活用を提案する演習を実施する。			
授業目標	1 地域看護活動の展開における地域診断の意義とその方法を理解する。 2 多様なコミュニティにおける実践例を通して、生活と健康を関連づけた活動方法を理解し、地域における社会資源の活用と創出の視点を獲得する。			

授業内容

回	項目	内 容	担当者
1	地域看護と社会	個人・家族の背景としての地域、活動のパートナーとしての地域	田中美延里
2	地域特性に応じた地域看護活動(1)	ルーラルエリアにおける看護活動(教育協力者)	
3～4	地域特性に応じた地域看護活動(2)	実習地の活動事例紹介	
5	地域診断の目的と展開過程	地域診断の枠組み、アセスメントの過程	
6	エスノグラフィーと地域看護	エスノグラフィーと看護、地域診断への活用	
7	地区踏査の方法	地区視診・参加(参与) 観察、インタビュー	
8～9	既存資料と社会調査の活用	既存資料の種類、社会調査の意義と身近な例	
10～11	地区踏査の計画立案(演習)	地区踏査(個人ワーク)の計画検討	
12	地域診断に活用できるモデル	Community as Partner Model	田中美延里
13～14	グループ・組織との連携・協働	グループの機能、グループ支援・地区組織化活動	田中美延里 窪田志穂
15～16	地区踏査グループ報告会(演習)	地区踏査(個人ワーク)の発表	田中美延里 奥田美恵 窪田志穂
17～18	地区踏査全体報告会(演習)	グループ推薦作の発表	田中美延里 担当者全員
19	生活と健康に関する社会資源(1)	個人・家族支援のための社会資源活用 社会資源創出の視点	田中美延里
20～21	社会資源を活用した個別支援(演習)	個別支援事例における社会資源活用の提案作成	田中美延里 窪田志穂
22	生活と健康に関する社会資源(2)	地域資源を活かしたまちづくり(教育協力者)	田中美延里
23	まとめ	講義演習の要点整理	
成績評価方法	レポート80%、グループ学習への参加態度20%		
教科書	荒賀直子・後閑容子「公衆衛生看護学.jp 第4版 データ更新版」(インターメディカル)		
参考図書	エリザベスT.アンダーソン・ジュディス・マクファーレン、金川克子・早川和生「コミュニティアズパートナー 地域看護学の理論と実際 第2版」(医学書院)		
備考	地区踏査に掛かる交通費は自己負担とする。		